

「努力と継続」 心に響いた 日本人の言葉

「私はなんて幸せ者なんだ。」―日本へ帰国した時にまずこう感じました。この海外研修で体験したことは、私の一生の宝物です。これらの体験ができたのは、両親、先生方、そしてこの研修でお世話になった多くの方々のおかげです。外国で初めて知ったことや学んだことをこれから生かしていきたいです。

中学生の時から英語に興味を持って、英語で外国人と話したり英語で文を書いたりするのには得意でした。英会話に自信があった私ですが現地では話そうとするとなかなか文法が出てこなくて、とてもショックでした。これを機に英語への意欲がすごく高まりました。私は、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働いている日本人のお話を聞いて心に残った言葉があります。IAEAで働いている方

で、英語が苦手です。全然話せなかつたという方がいました。その方は今ではペラペラと英語を話していますが、私は、どうやって英語が上達したのか尋ねました。その方は、自分から外国人に話しかけて、分かんなくてもいいから英語のスピーチなどをよく聞くこと、そして努力して継続することを挙げていました。「努力と継続」という言葉は心の中に響きました。

た。英語が話せれば、自分の世界が広がるし、将来英語を生かせる日がくると思います。英語を上達させたらどこでどう生かせるかが今後の私の課題だと考えています。

私がこの研修で一番強く感じたものは、人の優しさです。外を散歩していたら日本語で挨拶してくれたり、分からないことがあつたらいやな顔をせず何回も説明してくれたりました。日本では気付かない優しさに気付かされました。色んな国の人と触れ合いながら日本との文化の違い、考え方の違いを肌で感じる事ができました。この機会を与えてくださった方々には本当に感謝しています。

IAEAにて
8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。



Reporter

大野高校1年
まきの さほ
牧野 早峰

国際機関で働く日本人に
学ぶ視察研修会



IAEAにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

エネルギーとこと

原子力発電所の再稼働については国民の間で今なお賛否が分かれています。原子力の必要性和重要性、世界最高水準の規制基準による安全性の向上など、国は、国民に対し今まで以上に説明責任を果たすべきです。

福井県経済団体連合会 会長 川田 建男

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 検索

次回は9月13日(火)掲載予定

視察研修会に参加した高校生が
学んだこと・体験したことを
シリーズで紹介していきます。